

美術博物館の催し

芦屋市美術博物館 検索

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432/FAX38-5434
(〒659-0052 伊勢町12-25)



■ 小杉武久 音楽のピクニック

● ギャラリートーク

- 日時 2月3日(土)
午後2時～1時間程度
- 会場 展示室
- 内容 担当学芸員による展示解説
- 参加費 要観覧料



小杉武久
横浜トリエンナーレ 演奏風景(2008年)

● 上映会

- 日時&内容 2月10日(土)プログラム3「PR映画・記録映画・科学映画」
／2月11日(日)プログラム4「マース・カニングハム舞踊団」／各午後1時30分～(開場午後1時) ■会場 講義室 ■定員 80人 ■参加費 要観覧料※すべてビデオあるいはDVDによる上映。上映内容等の詳細は当館ホームページをご覧ください。

■ 昔の暮らし

● ワークショップ「オリジナルろうそくを作ろう」

- 日時 2月4日(日) 午後2時～4時 ■会場 体験学習室 ■内容 昔の暮らし展を見て回った後、好きな絵を描いた紙を切り抜いてろうそくに貼り、溶かしたろうでコーティングしてオリジナルのろうそくを作ります。
- 対象 小学生・20人 ■材料費 300円 ■申し込み 1月27日(土)午後5時までに住所・氏名・学年・電話番号を電話で上記へ。※応募者多数の場合は抽選。

第35回 芦屋市造形教育展 観覧無料



前回の展示の様子

- 会期 2月17日～2月25日
- 会場 ホール・第1展示室・第2展示室
- 内容 市内の幼稚園・小学校・中学校の子どもたちの作品
- 問い合わせ 学校教育課 ☎38-2087

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

【休館日】月曜日(2月12日<月・祝>は開館・2月13日～16日は展示替えのため休館)

【観覧料】一般800(640)円、大高生500(400)円、中学生以下無料

- フリーパス 一般1,200円／大高生800円※本人に限り、会期中何度でも展覧会を閲覧いただけるお得なパスポートです

※()内は20人以上の団体料金

※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人1人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し

谷崎潤一郎記念館 検索

問い合わせ 谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
(〒659-0052 伊勢町12-15)



【特設展示関連講座】谷崎プロデュース 本の世界

- 日時 2月4日(日)午後2時～3時30分 ■会場 講義室 ■内容 谷崎の造り出したユニークな本を、最新の「谷崎潤一郎全集」(全26巻、中央公論新社)を編集した明里千章氏(千里金蘭大学教授)が紹介します。3月11日まで開催中の特設展示「『ホン』とは『ヘン』なモノである」がより楽しめる講座です。
- 定員 30人 ■参加費 1,000円(観覧料込み) ■申し込み 上記へ

【ロビーギャラリー】スケッチ講座作品展

- 会期 2月7日～12日
(最終日は午後3時まで)
- 会場 ロビーギャラリー
- 内容 当館で、透明水彩画教室の講師を務める井上正三氏と受講生の作品展示
- 参加費 要観覧料

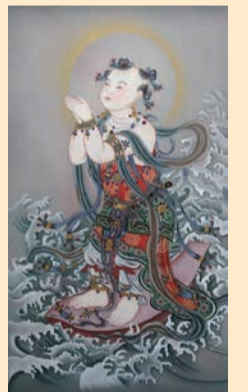


【ギャラリートーク】井上正三トークショー

- 日時 2月12日(月・祝)午後1時～2時30分 ■会場 講義室 ■内容 スケッチ講座作品展を開催中の井上氏が、透明水彩の魅力語りします。
- 定員 30人(要予約) ■参加費 要観覧料 ■申し込み 上記へ

【ロビーギャラリー】日本画講座作品展

- 会期 2月15日～18日
(最終日は午後3時まで)
- 会場 ロビーギャラリー
- 内容 当館で、日本画講座の講師を務める長谷川透氏と受講生の作品展示
- 参加費 要観覧料



【ロビーギャラリー】仏画講座作品展

- 会期 2月21日～25日
(最終日は午後3時まで)
- 会場 ロビーギャラリー
- 内容 当館で、仏画講座の講師を務める阿藤無華氏と受講生の作品展示
- 参加費 要観覧料

【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)

【観覧料】一般300(240)円、大・高生200(160)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人1人は各当日料金の半額

芦屋文化ゾーン講座 学芸員が語る芦屋の歴史・文学・美術

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432
(〒659-0052 伊勢町12-25)

本市には原始・古代にまでさかのぼる長い歴史があり、さらに近代には「阪神間モダニズム」と呼ばれる洗練された文化が育まれました。

今回は、本市の歴史・文学・美術に精通した学芸員だからこそ知る芦屋について、各専門分野の視点から語る講座を4回開催します。

- 会場 美術博物館 講義室
- 定員 先着60人
- 参加費 無料(展示を観覧する場合は要観覧料)
- 申し込み 直接会場へ

■日時&内容&講師 ※各午後2時～3時30分

2月1日(木)	「芦屋の前方後円墳」 (生涯学習課学芸員・白谷朋世)
2月8日(木)	「文豪谷崎と芦屋／『細雪』を中心に」 (谷崎潤一郎記念館学芸員・永井敦子)
2月20日(火)	「芦屋と美術／明治・大正・昭和」 (美術博物館学芸員・大槻晃実)
2月22日(木)	「大正芦屋のシティプロモーション」 (生涯学習課学芸員・竹村忠洋)



「大正芦屋のシティプロモーション」関連写真
芦屋遊園と人力車(大正初期)